

道路事業の再評価概要書

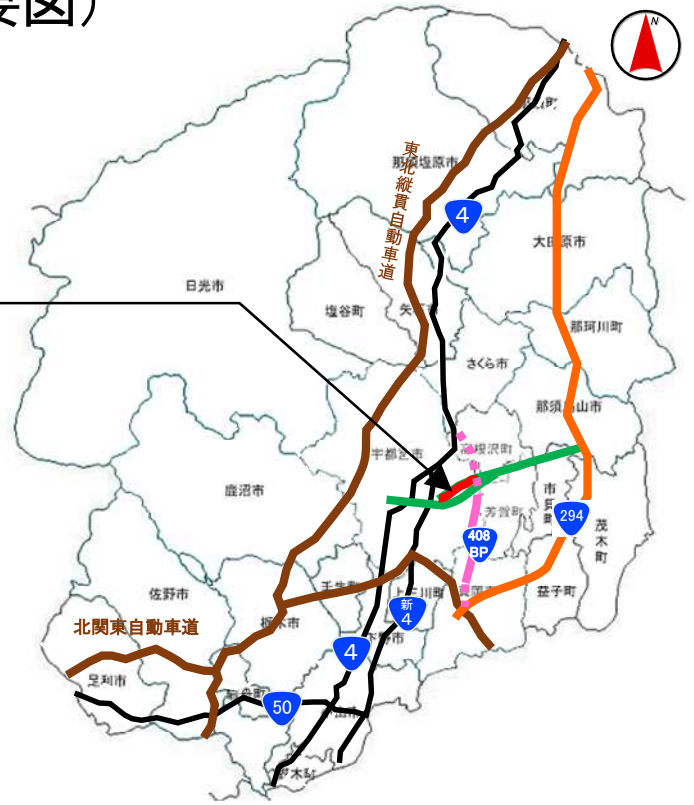
()は前回評価時

道 路 事 業 の 再 評 価 概 要 書		番 号	2												
		事業主体	栃 木 県												
事業名	快適で安全な道づくり事業	事業所管課	県土整備部 道路整備課												
路線・河川名	主要地方道 <small>うつのみやむかだせん</small> 宇都宮向田線	事業箇所名	<small>うつのみやし</small> 宇都宮市 <small>ひらいていたど</small> 平出板戸工区												
事業区間	<small>うつのみやしひらいでまち</small> 宇都宮市平出町 <small>はがぐんはがまちしもたかねざわ</small> ~芳賀郡芳賀町下高根沢	事業延長	6,200m												
H14年度事業化		H14年度用地着手	H15年度工事着手												
事業期間	(H32) H14年度~H34年度	事業進捗状況	基準年次：【平成30年度末時点】 進捗率												
[うち用地補償費] 全体事業費	[31.7 (31.7)億円] 130.0 (120.0)億円		[うち用地補償費] [31.7 億円] [100%] 既投資事業費 119.3 億円 92%												
事業概要															
<p>主要地方道宇都宮向田線は、宇都宮市と那須烏山市を連絡する幹線道路であるとともに、宇都宮市街地から同市東部（鬼怒川左岸地域）に位置する大規模な工業団地群（清原、芳賀、芳賀高根沢など）へのアクセスとして重要な役割を担っている道路である。</p> <p>しかし、鬼怒川を渡る主要地方道宇都宮向田線の現道（柳田大橋を含むルート）では朝夕を中心に激しい交通渋滞が発生しており、通勤通学などの日常生活や地域発展上大きな支障をきたしている。</p> <p>このため、平成14年度から本路線（板戸大橋を含むバイパス）の整備（愛称「宇都宮テクノ街道」）に着手し、平成20年3月に約4.7km区間が開通（暫定2車線及び一部完成4車線）、平成25年6月に約0.9km区間が開通（暫定2車線）した。残る約0.6km区間については、LRT事業の工事に伴う自動車交通の周辺道路への分散に対応するため、平成31年春に前倒し開通（暫定2車線）予定であり、全体約6.2kmが全線開通となる。</p> <p>本路線の全線開通により、また、LRT事業の工事に伴い、現道（柳田大橋を含むルート）からの交通転換が進み、本路線のさらなる交通量の増加が見込まれるため、引き続き付加車線の設置を行うものである。</p>															
事業を巡る社会経済情勢の急激な変化、技術革新、事業計画の大幅な変更 等															
<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市・芳賀町が施工するLRT事業の平成30年度工事着工 ・付加車線を設置する計画変更 															
事業の投資効果															
<p>1 費用対効果分析結果</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td></td> <td>【総便益 (B)】</td> <td>【総費用 (C)】</td> </tr> <tr> <td>(1) 事業全体</td> <td>B/C = 2.5</td> <td>481 億円</td> <td>195 億円</td> </tr> <tr> <td>(2) 残事業</td> <td>B/C = 8.2</td> <td>105 億円</td> <td>13 億円</td> </tr> </table> <p>2 事業の整備効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋滞緩和による交通の円滑化 ・宇都宮市街地と県東部地域の連携強化 ・鬼怒川左岸地域の産業支援 ・LRT事業に伴う自動車交通の周辺道路への分散に対応 						【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	(1) 事業全体	B/C = 2.5	481 億円	195 億円	(2) 残事業	B/C = 8.2	105 億円	13 億円
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】												
(1) 事業全体	B/C = 2.5	481 億円	195 億円												
(2) 残事業	B/C = 8.2	105 億円	13 億円												
事業の進捗状況等															
<p>1 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1期工区(4.7km)は平成20年3月に開通（暫定2車線及び一部完成4車線） ・2期工区の一部(0.9km)は平成25年6月に開通（暫定2車線） ・2期工区に残る区間(0.6km)は平成31年春に開通予定（暫定2車線）。 <p>2 今後の事業進捗の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成34年度に付加車線設置完了予定。 															
コスト縮減等															
<p>1 コスト縮減方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を活用しコストを縮減 <p>2 代替案立案等の可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に計画区間の用地を取得しており、本計画が最適である。 															
事業の対応方針(案)		今回計画案で事業を継続する。													

事業箇所（位置図・概要図）

位置図

主要地方道宇都宮向田線 平出板戸工区

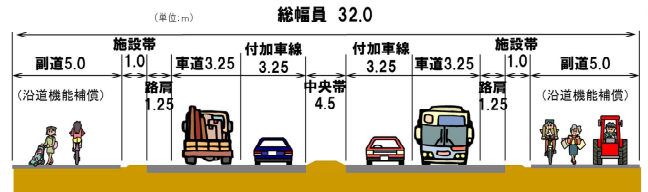


標準横断面図

前回評価時



今回変更



概要図

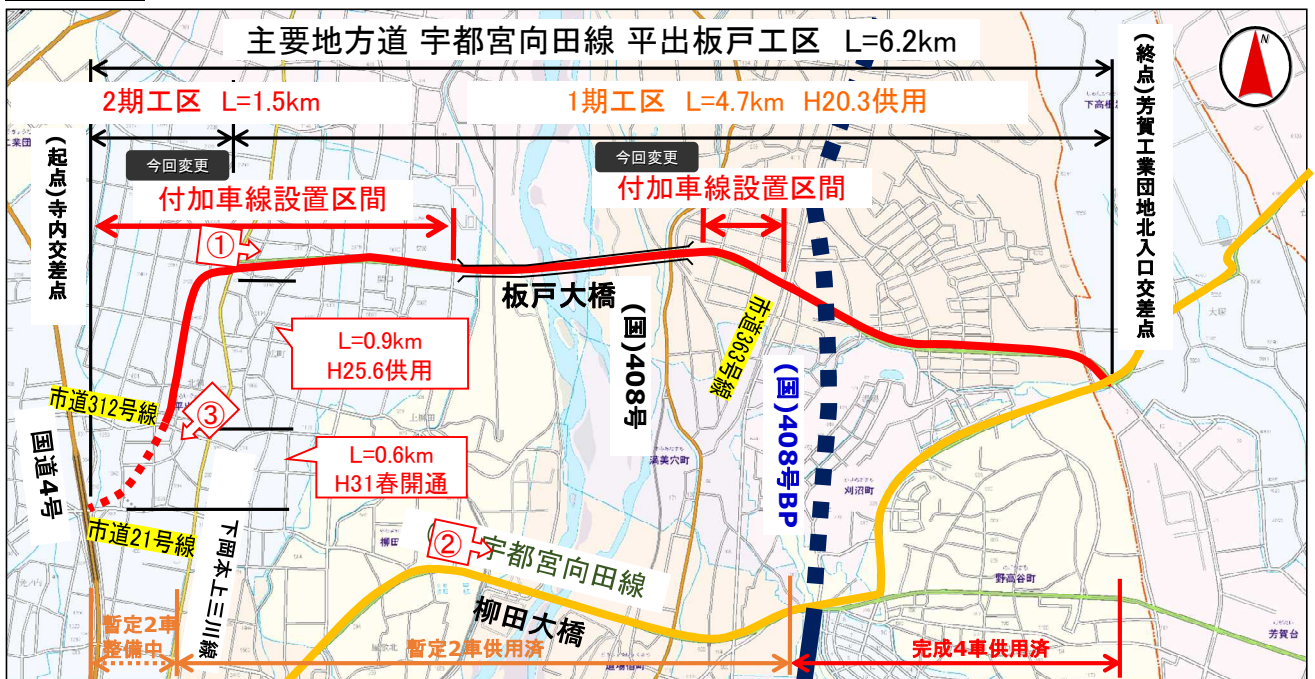




写真 1 : 供用済区間の状況 (テクノ街道)



写真 2 : 現道の状況 (柳田大橋)



写真 3 : 供用済区間起点 (市道 312 号線交差部)